

第2号議案

令和2年度（第9期）特定非営利活動法人スノーパーク小出 活動計画（案）

小出スキー場、見晴らしの湯こまみの運営を通じて、多くの方がこのエリアを利用していただけの企画を進めてまいります。特に今年度はスキー場施設の貸借契約が満了することもあり、市当局と協議を継続してまいります。特に令和2年4月に提示なされた契約更新案については、スキー場の契約内容を明確にした中で協議を行い、別段として小出公園、見晴らしの湯こまみの指定管理を含めた管理運営に向けて、準備・協議を順序立てて行ってゆきたいと考えます。特定非営利活動については前期同様、SDGs（持続可能な開発目標）の3項目を指針とし、引き続き事業を展開してまいります。

市当局との協議を経て、スキー場を軸としたこのエリア一帯の活用できる素地を構築してゆきたいと考えます。



3、すべての人に健康と福祉を

- 通年を通じた、健康づくりプログラムの企画と実施
- 温泉を活用した、健康づくりプログラムの検討
- エリア全体を活用した上記機会の推進



4、質の高い教育をみんなに

- 教育施設としてのスキー場として、企画や受け入れの実施
- サマーシーズンの体験学習・生涯学習の企画と実施
- 様々な団体と連携した、上記機会の提供



15、陸の豊かさも守ろう

- 恒常的に発生しやすい大型ごみの削減
- 省エネルギー化の推進による、環境負荷の低減
- 自学意識を持ったエリア内の自然環境の調査

◎小出スキー場の管理運営に関する事業

「屋根のない体育館」の方針のもと、学校授業・団体の受け入れを進め、必要とされる施設としての意識を高めます。また、COVID-19や少雪による、冬季営業への影響を最小限に抑えるため、各種制度活用による営業リスクの軽減や感染予防対策の実施を行うとともに、来場者の動きを想定した、各種簡素化や効率化を進め、状況に応じた臨機応変の対応を進めてゆきたいと考えます。

また、令和3年3月に契約が満了となる、スキー場の契約については、スキー場を柱とした一体的な管理に向けて、大きな負担が生じないように、市との契約を進めてゆきます。

・スキー場の契約更新について（現在協議中）

項目名	市提示内容（4月・9月）	8月31日返答内容
索道施設・圧雪車	<ul style="list-style-type: none"> ・無償譲渡 向こう3年間の整備実施 譲渡を受けた側が原状復帰 ・無償貸付 貸付の場合、施設は現状渡し、今後の整備は行わない。 	無償貸付での契約、整備については当法人が窓口となり補助申請
土地	<p>市有地 無償貸付</p> <p>小出公園内 こまみとの一体的な管理に向けた指定管理に移行</p> <p>但し、スキー場に関連する費用は盛り込まない</p>	<p>市有地 無償貸付</p> <p>小出公園内 索道施設の条件面で調整ができることを条件に、管理運営への検討を行う。</p>
こまみ	小出公園との一体的な管理に向けた指定管理に移行	今回のスキー場契約を前提として協議をお願いしたい。

スキー場の営業スケジュールについて

営業期間 令和2年12月25日（金）～令和3年3月7日（日）※予定

※時期については、近隣小学校や政府・行政の予定を基に調整を行います

月	内容	備考
10月	スキー場草刈り	
11月	電力投入・搬器取り付け 営業前準備作業	
12月	安全祈願祭 スタッフ雇入 社員研修・準備作業 スキー場開場	
3月	スキー場閉場 片付け作業・次期準備作業	

◎既に受け入れ決定している学校・団体

県内小学校 1校 2月9日

首都圏小学校 15校 1月18日～3月5日（金）

◎COVID-19対策

＜基本的な運営の考え方＞

日本鋼索交通協会発行、索道事業者向け感染予防のガイドラインに準じ、様々な対策を実施してゆきます。

＜細かな実施案＞

○リフト

スタッフ・・・マスク（またはフェイスマスク）＋手袋着用
 検札の電子化（RFID化）
 リフト小屋の換気の徹底・スタッフ待機位置の見直し
 アルコール消毒液の設置（ボトル・スプレー）
 営業終了後の消毒の実施

○スキーセンター

（ハード面）

学校授業時の完全入れ替え制の実施
 2階レストランテーブル 椅子の間引き
 テーブル中央に飛沫防止シートの設置、1階ベンチ再配置
 熱交換型24時間換気扇の導入 ※施工済み

（ソフト面）

学校授業時・・・食事は完全入れ替え制
 休日時・・・混雑想定時は時間差での入館促進等の対応実施

スキー学校

受付等の場所を検討

山小屋

運営者と相談して感染予防対策を検討する
 それぞれ、索道施設のガイドラインを基に実施対策を策定。

リフト券売り場

飛沫防止パネルの設置

トレイを使ったリフト券の引き渡し
レンタル

レンタル器材の消毒の徹底
受付時の飛沫防止パネルの設置
ページャーを使った密空間の解消
使用済み品の屋外回収（ピロティ活用）

その他

入り口、トイレにアルコール消毒液の設置
便座除菌液の設置
朝礼・終礼の実施方法の検討
混雑時間を考慮したリフト券の価格設定
 宿泊施設のような混雑日に応じた価格設定
COVID-19対応保険発売後の加入
ネットでのリフト券・レンタル決済システムの導入
スキー場パンフレットのデジタル化
索道保全担当者の選任
リフト券の料金体系の簡素化
屋外喫煙場所の隔離

◎少雪対策

分散型天候デリバティブの検討
リフト乗降場への無雪マットの設置

◎その他運営改善

◎見晴らしの湯こまみに関する事業

安心安全な施設とサービスを提供するため、各種対策の実施と、設備知識と運営に関するのスキルを向上させてゆくとともに、温泉に加えて様々なサービスの提供を進め、幅広い方から利用していただける施設を目指します。

<細かな実施案>

業務リーダーの選任（設備・イベント・販売）
運営・設備研修会の開催
休館中に導入した工作機械の貸し出し（貸室再開後）や、製作委託の実施
貸室を利用したカルチャークラブの運営※貸室提供は協議しながら進める
自主保全体制の確立
物販の強化
小規模イベントは積極的に実施

<COVID-19>対策

・公衆浴場の感染予防対策ガイドライン
・小売業の感染予防ガイドライン
上記2つの内容ベースに市と協議しながら、考えてゆく

◎特定非営利活動に関する事業

基本方針

SDGsの3項目を指針とした、さまざまな企画とその運営を行ってまいります。また、スキー場周辺を一体的な管理ができるように、従来の関わっている方々とのコミュニケーションをとってゆくほか、ボランティア・指導者といった事業に関係がある方との相互連絡を取り、実施が円滑になるよう進めてまいります。

また、事務局は円滑な法人運営体制を確立化するため、部門制による役割分担化と、速度感のある組織運営を進めてゆきます。

職場環境についても、働きやすい環境環境整備にも力を入れてゆきます。

<細かな実施案>

SDGsの3項目を指針とした活動の実施

<教育>

- ・スキー、かんじき等、冬季間の学校受け入れのプログラム運営
- ・通年を通しての自然体験・環境教育プログラムの運営
- ・それぞれの施設と連動したプログラムの実施
- ・依頼のあったプログラムの企画と運営

<健康づくり>

- ・通年を通じた健康プログラムの実施
- ・スキー場、温泉、公園を連動させたプログラムの企画と実施

<環境保全>

- ・周辺エリアを含めた自然環境の調査
- ・成人を対象とした環境教育プログラムの実施

<事務局運営>

子育て環境の整備と助成金の申請

COVID-19対策補助金・助成金の情報収集と申請

オンラインでの会議体制の確立

イベント統括マネジャーの選任

駒見山整備ボランティアとの対話の継続

イベント指導者・ガイドとの対話の継続

スキー場契約更新に向けた情報収集と協議

小出公園を含めた管理・運営の検討とその情報収集